

くじの方法

公募型プロポーザル方式において、総合評価点が最も高い者が同点でありなおかつA項目及びB項目評価点がともに同点の者が2人以上あった場合は、総合評価点が最も高い者（以下、「くじ対象者」という。）のみで次のとおりくじを行い、くじにより選ばれた申込者を優先交渉権者とする。

1 「くじ番号」の欄に任意の値を記入

申込者は、くじを行う場合に備えて、参加申込書の「くじ番号」欄に、提出時にあらかじめ任意の3桁のアラビア数字「000～999」を記入（「0」の桁も必ず記入が必要）しておくものとする。

なお、記入のない場合、「0」の桁の記入がない場合、1文字でも判別できない数字がある場合、訂正しているが訂正印がない場合、不明な記載の場合などは、「パスワード交付申請メールの受信時刻（時・分）」の下3桁の数字を記載したもののみとする。

※「パスワード交付申請メールの受信時刻」とは

配布図書開封には、パスワードが必要となり申込者により必要図書を添付しパスワード交付申請をメールにより行う必要がある。その際、申込者より送付されたメールが法人において受信された時刻とする。

《例》法人でのメール受信時刻

「2026/07/21（火）14:15」の場合、くじ番号は、「415」とする。

2 くじの手順

- （1）「くじ対象者」に、パスワード交付申請メールの受信日時の早い者から順に、「抽選番号」（0，1，2，3，……）を付与する。
- （2）「くじ対象者」の申込書に記載された任意の「くじ番号」を合計し、その合計点を「くじ対象者」の数で除し、「余り」を算出する。
- （3）上記（1）の「抽選番号」と上記（2）の「余り」の数値が一致した者を優先交渉権者とする。

《例》「くじ対象者」が4人の場合

(1) 「抽選番号」を付与する。

業者名	パスワード交付申請メールの受信時刻	抽選番号を付与
A社	2026/07/21 (火) 14:15	0
B社	2026/07/21 (火) 15:33	1
C社	2026/07/21 (火) 18:20	2
D社	2026/07/21 (火) 20:15	3

(2) くじ番号の和を求め、「くじ対象者」の数で除し、余りを算出する。

業者名	くじ番号
A社	0 8 3
B社	9 3 4
C社	2 7 1
D社	0 0 7



$$083 + 934 + 271 + 007 = 1295$$
$$1295 \div 4 \text{ (人)} = \text{商} 323 \cdots \underline{\text{余り} \cdots 3}$$

(3) 優先交渉権者の決定

業者名	抽選番号	優先交渉権者
A社	0	
B社	1	
C社	2	
D社	3	○

※優先交渉権者が辞退した場合は、辞退者を除く「くじ対象者」において「2 くじの手順」に従い再度、優先交渉権者を選定する。